

これ以上、権力の一方的攻撃は許せない！

ここで起ち上がらなからなら権力への屈服だ！

# 1・24 権力反撃モラハラ暴行

1.24闘争は目前に迫った。今こそ学友1人1人が決意しう。1月24日、機動隊粉碎の実力を元モに決起せよ！この日の元モで流れをかえるのだ。権力のやりたい放題にピリオドをうつのだ。権力とたたかって、人民は勝利するということを実際のたたかいで多くの人々にさし示すのだ。今やらないともうおそい。そして今やればすごいことになる。まじりを決して起て！



権力なら何をやってもいいのか！ 12.5弾圧をどんなことがあっても許すことはできない

12.5弾圧が権力とは一体なんであるかをストレートに表現している。機動隊、私服のC乱入、学友への武装警撃。11名不当逮捕。「法と秩序を守る」ために警察というものが必要だと思っている人も多い。（だからみんなが積金で彼らを養ってやっているのだ。）その警察が逆に法と秩序を蹂躪するとは、暴力団や右翼と何ひとつちがわないやり口だ。テロ、リンチされてろっ骨を折られたり、懸所を蹴りあげられ絶対安静の重傷を負った学友が宿が法にふれるようなことをやったか？ 権力は「暴力行為」とか「凶器準備集合」などの罪名をつけたましく騒ぎたて、23日自ら11名の学友をスタッフ箱にたちこんだけれど、証拠のひとつもなく、取調べすぐまともに行なわぬ釈放せざるをえなかつたではないか。「暴力行為」「凶器準備集合」とはこの日、権力、京都府警が凶行した犯罪のことをこそさして言うのだ。罰せらるるべきは権力のほうなのだ。

にもかかわらず権力は23日自ら11名の学友の身柄を拘束し虫ケラ同然のあつかいをした。それは隠りながら話れない非人道的、非人道的なものだ。た。「身体検査」と称して二タニタ美ヶ原官の前ですうばいかにされ、尻の穴まで調べられた。久院

しかければならないほどの重傷の2名は厳寒の獄中に放置され、解放後も病院通いを余儀なくされた。連日の取調べは権力の口汚なし罵倒と転向強要の連續であつた。「三里塚なんかやめろ」「お前なんか人間じゃない！」とめめきながら権力は11名の学友をこづきまわした。11名の学友の実態：非転向のたたかいとキャンバスの反弾圧闘争の高揚によつて11名はたしかに奪還された。だが、これらひとつひとつが不法不當行為について権力が11名の学友に一言でもあやまつたか。無実の罪で23日間もスタッフ箱にぶちこみ、すさまじい肉体的、精神的苦痛を強奪してきたことの責任を権力は少しでもとろうとしたか。断じて否だ！

しかも不當不法はどんどん拡大されようとしている

しかも権力はこうした不當不法をどんどんくりかえし、拡大していくこうとしている。1月24日、83年5.18弾圧裁判で学友に

12.5弾圧粉碎、学友11名尊還す！ 5.18弾圧反撃判決粉碎！  
自衛隊防衛！三里塚三月抗戦勝利！

1・24 全関西学生集会

正午 教養部正門前

2時半より元モ（祇園→四条河原町→市役所前）

- 主催 ■ 熊野祭自治会・教養部自治会・教養部闘争委員会  
■ 大阪市立大学志全寮自治会

5.20共向

不当有罪判決が強行されようとしているのがそれだ。

83年5月18日、4日後の三里塚現地闘争を前にして、三里塚  
闘争と東自治運動を担った学友・寮友が突然逮捕された。

1ヶ月も前に時計台当局に東自治会として抗議行動を行なった  
ことを口実に4名が逮捕され、更にこの不当逮捕への抗議行動  
に対し4名が逮捕された。

権力は1.24有罪判決で破産した12.5弾圧を盾直り、その挽回  
を策動している。権力のやり口はいつもこうなのだ。己れの失  
敗：破産、敗北の責任のすべてを人民に暴力的におしつけ支配  
を維持するやり口だ。4名の被告は自治警察衛のたたかいを行  
なうたというだけで、そのイケニエにされ、見せしめとして有  
罪に処せられようとしている。これ以上ひきさがれば、12.5弾  
圧をうけた11名の学友や5.18弾圧裁判被告4名の運命が全京大  
生の運命となることは不可避だ。そのときになつてあがいても  
おもいのだ。

### 中曽根の警察政治を許さない！

京大キャンパスだけに限らずではない。権力のやることは  
一事が万事このざまなのだ。

20年間三里塚で権力が凶行し続けてきた無法の歴史を見よ。  
機動隊の暴力で東山薫君をはじめどれだけ多くの人々が虐殺さ  
れてきたか。ケガをさせられたり、逮捕されたりしたことか。  
そのあげく昨年11月21日反対同盟農民3名に懲役10年、5年、  
1年半の重刑が求刑された。「いまなお三里塚に住み空港反対  
闘争をしている」ということだけで3名の農民とその家族が殺  
されようとしているのだ。

国家権力にいつも人民は虫ケラ自然にあつかわれてきた。い  
じめにいじめられてきた。数々のえん罪事件を見よ。無実の罪  
をさせられ石川一雄氏や赤堀政夫氏のようにいままで獄中ににつな  
がっている人々がいる。無実がはれたえん罪事件でも10年20年  
と無罪の人々を獄につなぎとめ、その人の人生をズタズタにし  
たことの責任を権力がとったことなど一度もない。人民の生活  
の舞台では自分がまちがえばあやまるということは常識だ。な  
のに犯人を「まちがえた」（本来それ自身許されないが）権力  
が一言でもそうした人に謝罪したことがあつたか。

権力の横暴は中曽根内閣の下でますます全社会的に横行して  
いる。「戦後処決算」とは戦後的な人民の民主主義的権利のす  
べてを警察の暴力で叩きつぶし、侵略戦争を遂行しうる城内平  
和を構築しようとする重大攻撃だ。三里塚や、いわゆる「過激派」  
だけが攻撃の対象とされているのでもない。すでに労働運動、市民運動、選挙活動にすら攻撃は拡大されている。左翼的

なもの、戦後的なものの一切が権力の理不尽な攻撃にさらされ  
ているのだ。

### これ以上ひきさがれない。ここで流れを変えよ！

もうカマンならない。これ以上権力の不当不法をまかりとあ  
らせであるものか。これ以上権力の好き放題を許してなるもの  
か。自分の生活や権利がこれほどまでにじゅうりんされた時、  
反撃に起ら上るのは当然のことだ。相手が強大な国家権力だ  
からと言つてわれわれが黙ってしまう必要なんか全くないのだ。

どうやって反撃したつか。われわれは虫ケラではない。お  
前の言ひなりになる奴隸ではないということをどうやつて権  
力に思い知らせるのか。答はひとつ、斯圖たる実力闘争だ。力  
でゆからせろしかない！

権力の側から法を踏みにじつて来ているのだ。法的規制、既  
存のルールのすべてがもはやめられわれの武器ではあり得ない。  
現実的な力関係、力と力との激突ですべてが決せられていく。  
権力が己れの目的遂行のために法をものともしていかず時、1  
つまでも自らを法にしばりつけようとするのはそれ自身奴隸の  
思想だ。社共、既製指導部の中曽根への屈服は自モイテオロギ  
ーの領域から始まつたのではない。最初にあつたものは国家権  
力の暴力への屈服であり、支配者に捨て去られた法と秩序につ  
つまでも自らをつなぎとめるということだ、たのだ。

### 1.24実力で反撃せよ！

すべての京大生の国家権力への反撃の第一歩が1.24だ。さう  
われわれは泣き寝入りしない。不当不法のひとつひとつを責任  
を権力にとらせていく。12.5弾圧の責任、5.18弾圧裁判有罪判  
決を自論したことへの責任を1月24日、機動隊幹部の実力テモ  
でとらせていくのだ。

元モーそれは権力の暴虐非直に対してなすすべもない人民の  
反撃の決定的手段だ。どんな決定的な局面が来てもテモをやら  
ないことが既製指導部の屈服と報道のメルクマールだ。1.24集  
会に大結集し、その巨大な隊列で機動隊の壁を実力突破せよ！  
機動隊幹部のたたかいの勝利を必ず実現しよう。